

有志舎の新刊です。2014年8月下旬発売

シリーズ〈フロンティア現代史〉最新刊

日本占領とジェンダー

—米軍・売買春と日本女性たち—

平井和子（ひらい かずこ） 著

A5判・ハードカバー・260ページ 本体価格 4,800円

占領下、日米「合作」の性政策をジェンダー視点から問い直す！

兵士の性暴力は軍隊が生み出す構造的なものである事を明らかにし、それを支える女性同士の分断を乗り越える道筋を描き出す。

(目次)

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 序章 | 日本占領から「軍隊と性」を考える |
| 第1章 | 占領軍「慰安所」(RAA・特殊慰安施設)の開設と展開 |
| 第2章 | 日米合作による性政策 |
| 第3章 | 米軍基地売買春と地域—1950年代の御殿場を中心に— |
| 第4章 | 占領と売春防止法 |
| 第5章 | 売春取締地方条例—静岡県の場合— |
| 第6章 | 「婦人保護台帳」にみる売春女性たちの姿—神奈川県婦人相談所の記録から— |
| 終章 | 女性たちの出会い直しのために |

<著者紹介> 1955年生まれ、一橋大学社会学研究科特任講師、日本女性史・ジェンダー論専攻。

～版元から～

橋本徹・大阪市長の言うように、軍隊を維持するためには本当に「性的慰安」が必要なのでしょうか？ かつて、敗戦後の連合軍（米軍）による占領下、女性たちは「守るべき女性」と「犠牲にしてもよい女性」とに分断され、双方がスムーズな日本占領のために利用されました。本書は日本とアメリカの合作による「慰安所」システムや基地周辺の売買春の実態、地域住民の対応や売春女性の実像分析により、日本占領をジェンダー視点から問い直し、「軍隊と性暴力」の問題を根本から考えます。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

| 番線印 | ご注文 | 発行：有志舎 | 分野 |
|-----|-----|--|---|
| | 冊 | シリーズ〈フロンティア現代史〉 日本占領とジェンダー —米軍・売買春と日本女性たち— 平井和子 著 | 日本史 (現代) |
| | ご担当 | A5判・ハードカバー、260ページ 本体価格 4,800円 | 弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。 |
| | 様 | 新刊 ISBN978-4-903426-87-7 C3021 | |

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信ください。